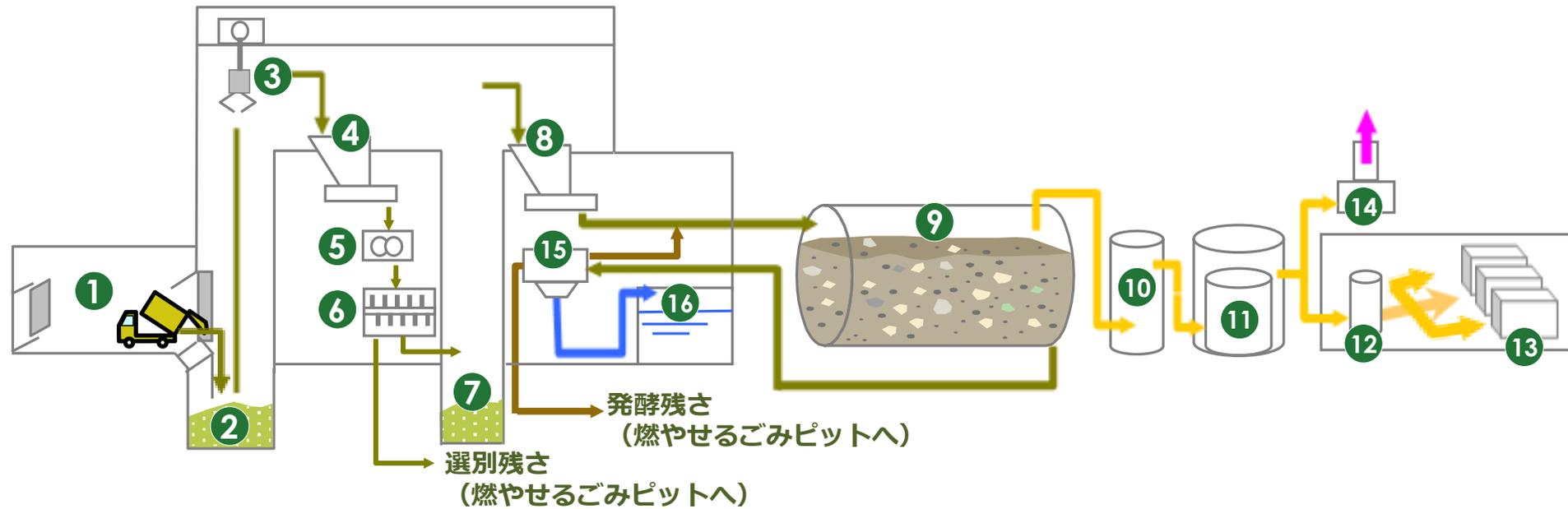


- ・ バイオガス化施設 防臭対策
- ・ バイオガス化施設 メンテナンス計画（メンテナンス時の臭気）
- ・ バイオガス化施設 発電機の排ガス対策（排出基準）

# バイオガス化施設の配置



# バイオガス化施設の流れ



1 プラットホーム

2 燃やせるごみピット

3 ごみクレーン

4 破碎選別対象ごみホツパ

5 破碎装置

6 破碎選別装置

7 生ごみピット

8 バイオガス化ごみホツパ

9 発酵槽

10 脱硫装置

11 ガス貯留装置

12 微量有害物除去装置

13 ガス発電機

14 余剰ガス燃焼装置

15 脱水設備

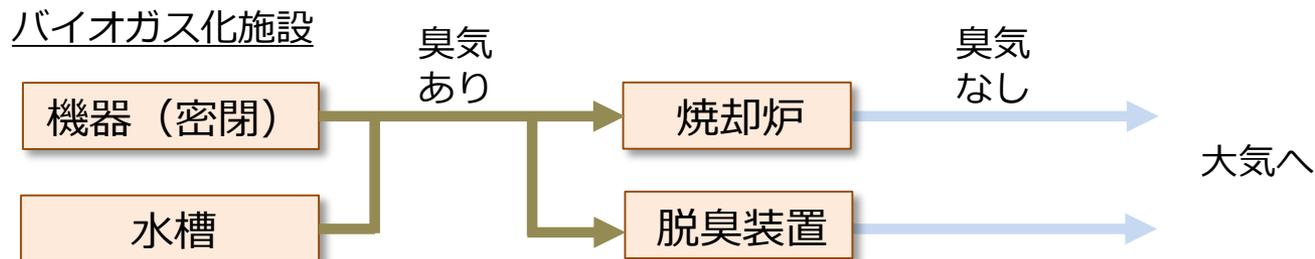
16 分離水処理設備

## ① 密閉構造で臭気をもらさない

生ごみや発酵残さ、汚水を扱う機器や配管はすべて密閉構造とすることで、臭気の漏えいを防ぎます。

## ② 機器や水槽内部の臭気を吸引して脱臭処理

機器や水槽内部の臭気を吸引し、焼却炉や脱臭装置にて処理することで、臭気を取り除きます。  
また、機器や水槽内部を吸気することで負圧が保たれるため、臭気の漏えいも防ぎます。

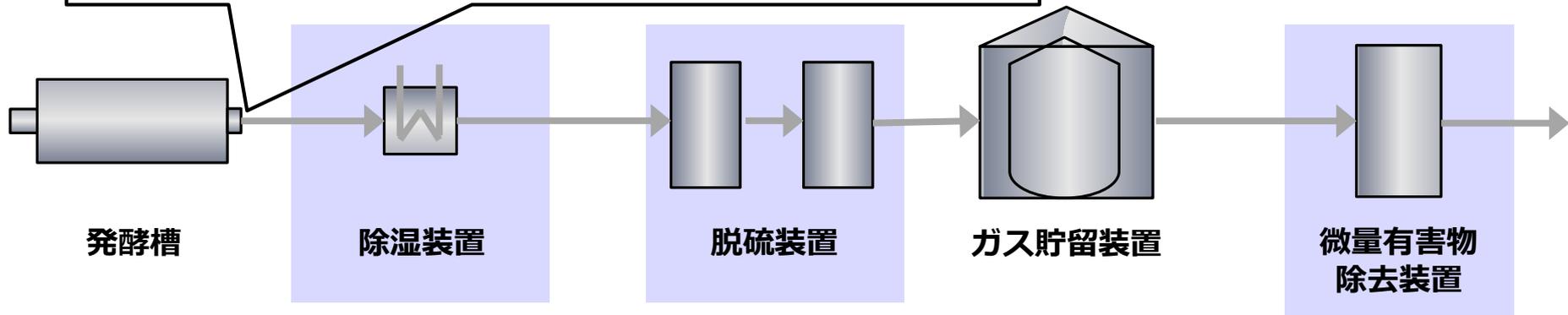




# バイオガスの性状・処理工程（参考）

## バイオガスの性状

メタンガス：50～60% 硫化水素：100ppm以下  
二酸化炭素：40～50% 総有機物：1000mg/m<sup>3</sup>以下  
水分：18%



水分

水分除去

ガス発電機保護

硫化水素

吸着除去

ガス発電機保護

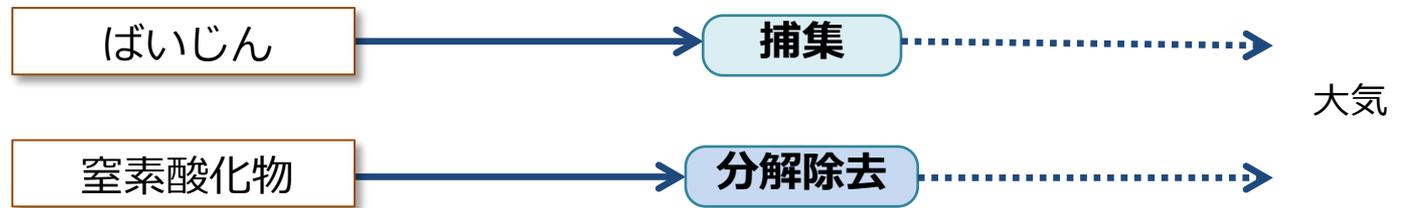
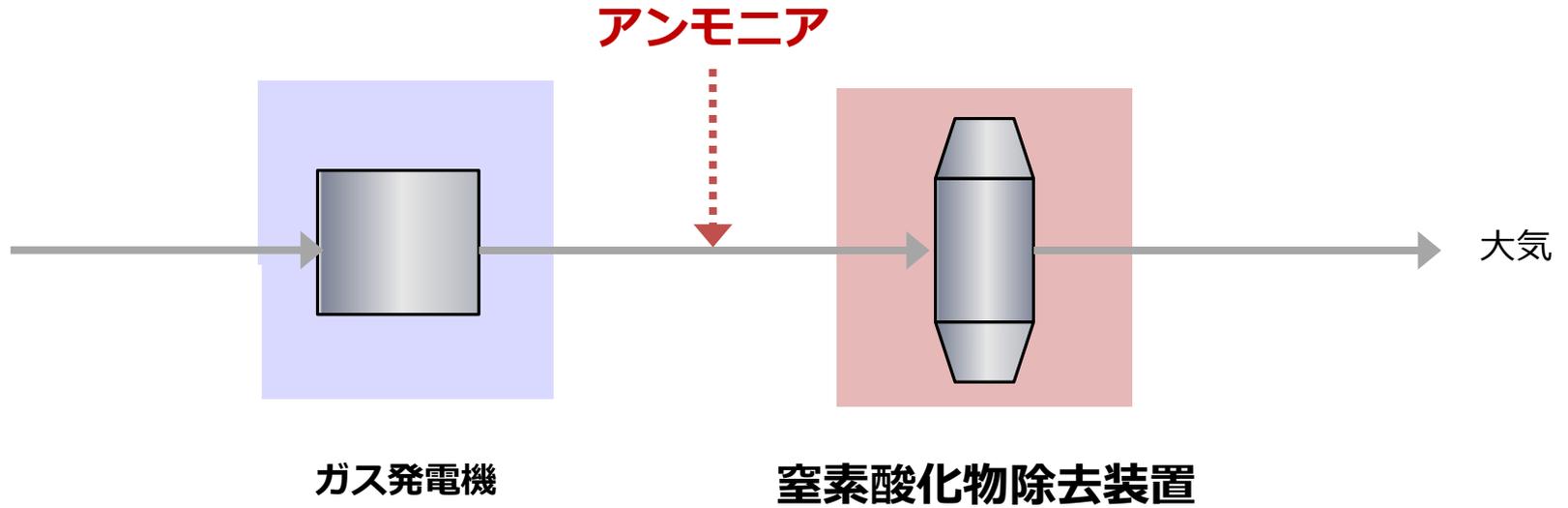
硫酸化物発生抑制

有機物

吸着除去

ガス発電機保護

# バイオガス化施設 発電機の排ガス対策



# バイオガス化施設 発電機の排ガス基準

## 排ガスの監視基準値

測定項目	酸素濃度	単位	法令基準値		自主規制値
			一般	特別	
ばいじん	0%	g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.05	0.04	—
	12%		(0.021)	(0.017)	0.005
窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> )	0%	ppm	600		150
	12%		(257)		(64)

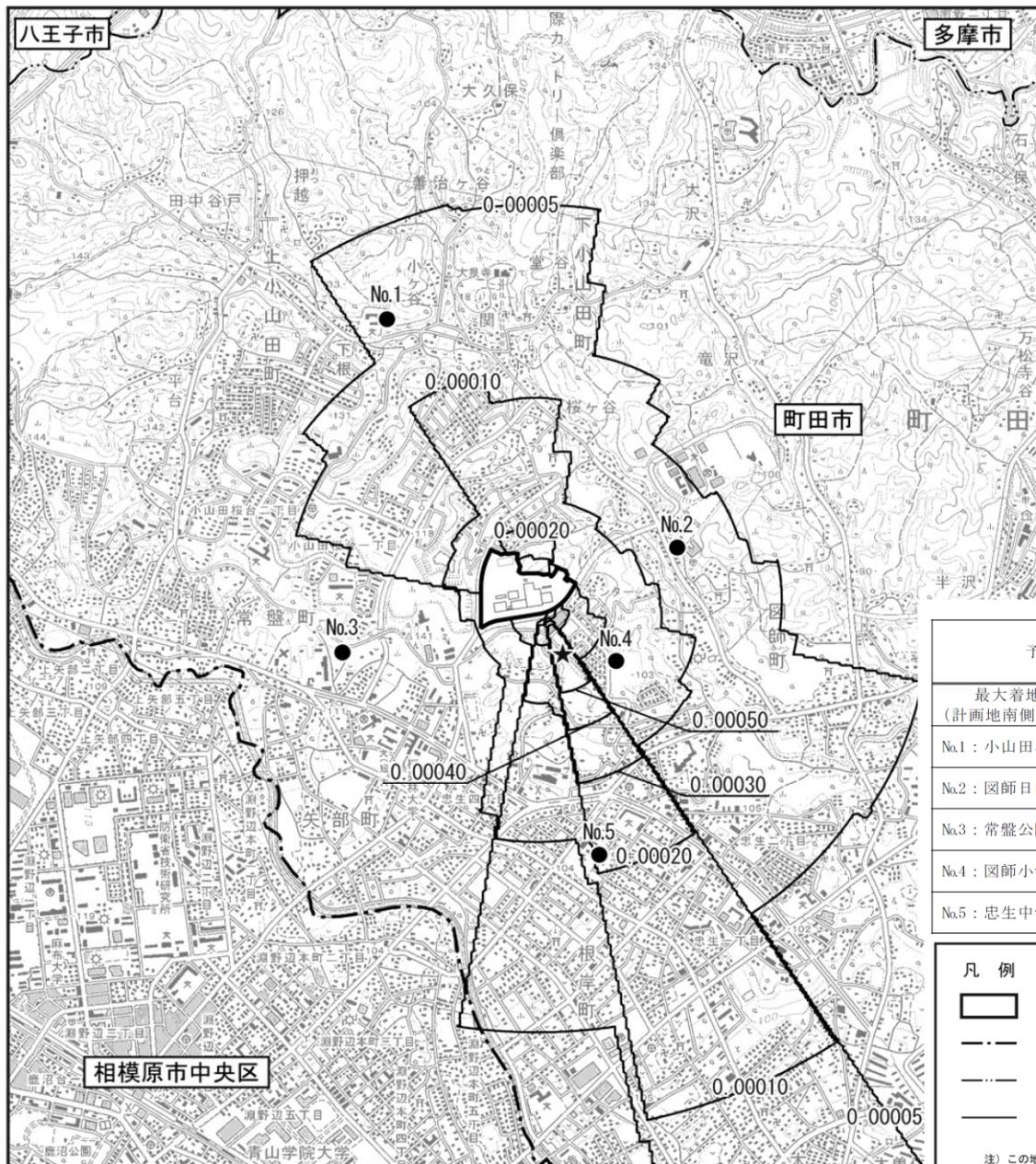
※1 上記はすべて乾きガス、酸素濃度換算値を示します。

※2 数値は1時間平均値を示します。

※3 法令基準値は、括弧なし数値を示し、括弧内数値は酸素濃度換算した数値を示します。

※4 自主規制値は、括弧なし数値を示し、括弧内数値は酸素濃度換算した数値を示します。  
(窒素酸化物の自主規制値は目標値を示します。)

# NO<sub>2</sub>の予測（シミュレーション）結果（長期平均濃度）



単位：ppm

予測地点	バックグラウンド濃度 ①	施設の稼働に伴う寄与濃度 ②	将来濃度 (年平均値) ③=①+②	寄与率 ④=②/③×100
最大着地濃度出現地点 (計画地南側敷地境界約200m)	0.012	0.000582	0.012582	4.6%
No.1：小山田小学校		0.000070	0.012070	0.6%
No.2：図師日向公園		0.000074	0.012074	0.6%
No.3：常盤公園		0.000023	0.012023	0.2%
No.4：図師小学校		0.000163	0.012163	1.3%
No.5：忠生中学校		0.000216	0.012216	1.8%

## 凡例

- 計画地
- 都県界
- 市区界
- 等濃度線  
(単位：ppm)

- ★ 最大着地濃度出現地点  
(0.000582ppm)
- 大気質予測地点 (No.1～No.5)  
No.1：小山田小学校  
No.2：図師日向公園  
No.3：常盤公園  
No.4：図師小学校  
No.5：忠生中学校



S=1/25,000



注) この地図は、国土院発行の2万5千分の1地形図(武蔵府中、原町田)を使用したものである。